

誰もがどれも選べる社会に…

テーマ：女性
所要時間 20 分

キーワード 女性の人権 男女共同参画 ジェンダー平等 アンコンシャス・バイアス
他者理解 多様な個性の尊重

ねらい 自分の中にある男女の職業についての固定的な考え方に気付いて見直し、男女共同参画の実現に向けての意識を高めます。

場面 子育て教室講座、自治会の研修会、趣味教養講座等の初回

こんなプログラムです！

- ・職業における男女の就業者の割合の違いを見つめます
- ・資料準備が参加者分の配布資料2枚のみです
(準備物: **資料1**、**資料2**(人数分))



活動内容 (時間)

〈活動1〉アイスブレイキング(7分)

(**資料1**を配布する。)

- (1) 「**資料1**を見て考えましょう。まずは、グループ内で簡単に自己紹介をします。その際、**資料1**の A・B を見て、どちらが女性だと思うか、その理由についても話してみましょう。」(5分)



「**資料1**は A が男性、B が女性です。どうですか？ 皆さんほとんどの方が B が女性だと思ったのではないのでしょうか」(反応を見る)

- (2) 「次に、**資料1**の A・I・U に当てはまる職業について、グループで話し合ってみましょう。」(2分)

「答えを発表します。A は保育士、I は料理人、U は大工が入ります。どうでしたか。各グループ、正解しましたでしょうか」(反応を見る)

〈活動2〉アクティビティ(7分)

「文字の大きさに注目して、資料1をよく見てみましょう。あなたはどんなことを考えましたか？ 感想を、グループで話し合ってみましょう。」

男女比がイメージどおりのものも多そうですね。中にはそうでないものもありますか…

偏見のようなものはないかしら…

その性別だからできる仕事もありますよね。



〈活動3〉ふりかえり(5分)

(資料2を配布する。)

「資料2は令和6年『男女共同参画週間』のポスターです。ここにあるキャッチコピーは『だれもがどれも選べる社会に』ですが、こういう社会に今、なっているでしょうか。そういう社会にするためにはどんなことが必要だと思いますか？ グループで話し合ってみましょう。」

女性の割合が高いから、それが女性の仕事ということはないですね。

昔よりはずっとなっていると思いますよ。

男女の比率を50/50にすることが重要なのではなく…

性別にかかわらず全ての人に選択肢のある…

男だから女だからではなく、だれがどれを選んでもよい社会になるには…



〈まとめ・つなぎ〉(1分)

「今日、皆さんが話し合ったことを、これからの生活に生かしていけるとよいですね。」

参加者のふりかえりを基に、『だれもがどれも選べる社会』のために意識を高めていくようまとめます。

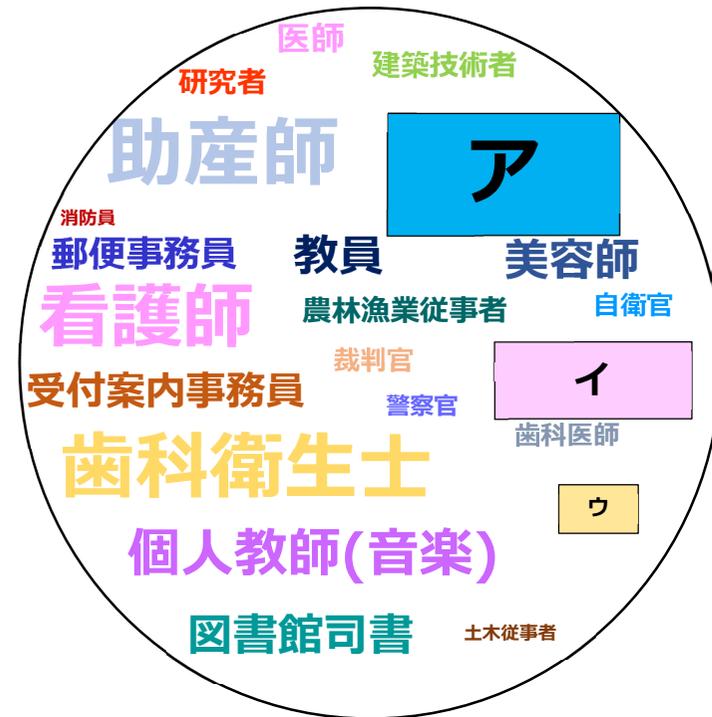
下の資料では、
男女別の就業者の割合が高い職業ほど文字が大きく表示されています。

[令和2年 国勢調査(栃木県)をもとに作成]

A



B



◆ア、イ、ウ には、『料理人』『大工』『保育士』のいずれかが入ります。



令和6年度男女共同参画週間のポスター